

プレスリリース

報道関係各位

株式会社フジテレビジョン

2014年9月5日

フジテレビ制作の連続ドラマ『ガリレオ』が

「ソウル国際ドラマ賞」で日本勢唯一の特別賞を受賞！

株式会社フジ・メディア・ホールディングス傘下の株式会社フジテレビジョンで2013年4月より放送した、福山雅治主演の連続ドラマ『ガリレオ』が今年で9回目を迎える国際ドラマフェスティバル「ソウル国際ドラマ賞2014」で特別賞を受賞した。

今年は日本から5作品が出品された。コンペティション部門にノミネートされた作品はなかったが、『ガリレオ』が「異文化交流に貢献した作品」として、日本勢で唯一コンペティション以外の特別賞を受賞することとなった。『ガリレオ』の企画から携わったプロデューサー・鈴木吉弘が授賞式に出席し、喜びを語った。

企画・鈴木吉弘(株式会社鈴木会社)コメント

「東野圭吾さんの小説を原作とするこのドラマは、物理学者が科学の力でさまざまな奇妙な事件を解決して行くというミステリー作品で、2007年に放送されたファーストシーズンの続編になります。前作では、科学者の痛快な活躍を描き、好評をいただきましたが、2011年に日本は震災と原子力発電所事故を経験し、科学の進歩を盲目的に信じることの危険を目の当たりにし、科学技術と環境破壊という問題に直面しました。2013年に製作された本作には、そうした問題意識が強く盛り込まれています。この『ガリレオ』セカンドシーズンが日本以外の方々にもこうして評価していただけて、とても光栄です」

【ソウル国際ドラマ賞について】

◆概要

2006年に始まり、今年で9回目を迎える国際ドラマフェスティバル。今回はメキシコ合衆国、ハンガリー、バヌアツ共和国からも初めて出品されるなど、世界50カ国から209作品がエントリーされた。

エントリーされた作品は、6月に韓国の著名なドラマ専門家らで構成された審査員によって予審審査が行われ、予審選出作品は本審を経て、9月4日(木)に国立劇場へオルム劇場(韓国・ソウル)で開かれた「ソウル国際ドラマ賞2014」授賞式で各賞を発表。その模様は韓国の民放・SBSで生中継された。

◆今年度ノミネート作品(者)

50カ国209作品の中から24作品と27名の個人賞がノミネート。予審を勝ち抜いた24作品の中から、作品性、独創性、大衆性が最も優れた1作品が「大賞」に、また各部門別に「最優秀作品賞」と「優秀作品賞」として選出される。

◆日本からの出品作品

『ガリレオ』(2013年4月クール／フジテレビ)…特別賞(コンペティション以外の部門)

『家族ゲーム』(2013年4月クール／フジテレビ)

『半沢直樹』(2013年7月クール／TBS)

ドキュメンタリードラマ『基町アパート』(2014年8月放送／NHK)

特集ドラマ『ラジオ』(2013年3月放送／NHK)

◆フジテレビ作品の過去の受賞歴

2006年『海峡を渡るバイオリン』(2004年11月放送)作品賞、音楽監督賞

2007年『のだめカンタービレ』(2006年10月クール)作品賞、監督賞、音楽監督賞

2013年『リーガル・ハイ』(2012年4月クール)ドラマ・ミニシリーズ部門ノミネート

2013年 俳優・桐山漣 ※CSドラマ『スイッチガール！！2』出演

People's Choice(オンライン人気投票)第1位受賞

以上

お問い合わせ: フジテレビ広報部 担当:清野

03-5500-8888(代表)